

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	<p style="text-align: center;">SGTSライン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非常用ガス処理系入口弁 (R/B 側) [BF-5A, BF-5B] の COS を全閉位置にする。 (補 4) (SGTS が運転中の場合は停止する) 2. SGTS-A(B) の出入口弁を全開にする。 SGTS-A 入口弁 BF-6 (SGTS-A 出口弁 BF-7) (SGTS-B 入口弁 BF-8) SGTS-B 出口弁 BF-9 3. 不活性ガス系隔離信号バイパスキースイッチを「圧力抑制室」(S/P 水位計 OS の場合「格納容器」) 側にする。 4. PCV SGTS 側ベント弁[A0-1601-73]を「開」する 5. 圧力抑制室ベント弁バイパス弁[A0-1601-90] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁バイパス[A0-160-83]) を現場手動ハンドルにより徐々に「開」とする。 (補 5) 6. SGTS-A(B) 入口流量の指示を確認する。 (以上の操作で PCV(D/W) の減圧ができない場合には更に以下の操作を行う。) 7. SGTS-A(B) を起動する。 8. 圧力抑制室ベント弁[A0-1601-72] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁[A0-1601-1]) を開可能とするため、下記隔離弁の隔離信号をバイパス (ジャンパー) する。 AO-1601-72 PNL903 EE42~EE43 ジャンパー AO-1601-1 PNL903 EE38~EE39 ジャンパー 9. 圧力抑制室ベント弁[A0-1601-72] (S/P 水位計 OS の場合、格納容器ベント弁[A0-1601-1]) を「開」する。 (補 3) 	<p>(補 4) SGTS を格納容器排気運転モードに使用する場合には、格納容器内のガスを原子炉建屋に流入させないため SGTS 入口隔離弁[BF3-5A, BF3-5B]を全開させる必要がある。</p> <p>OS : オーバースケール</p> <p>(補 5) 圧力抑制室ベント弁バイパス弁 [A0-1601-90] の「開」操作は、現場の手動ハンドルにより徐々に行う。CS 操作により「開」にすると、SGTS 及びパージファンラインの耐圧が低い <u>ため破損し、建屋内が PCV 内ガスにて汚染する可能性がある。</u> (R/B に入れない場合、SGTS A(B) 入口弁 [BF-6(8)] を手動にて徐々に「開」操作する。 この場合、2. で行う SGTS-A(B) 入口弁操作を 5. の後に行うこと)</p> <p>(補 3) 圧力抑制室ベント弁 [A0-1601-72] を開にすると、SGTS 及びパージファンラインの耐圧が低い <u>ため破損し、建屋内が PCV 内ガスにて汚染する可能性がある。</u></p>	<p>参考資料 (参考 5) 図 2</p>